



平成 29 年 2 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社 J P ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 荻 田 和 宏
(コード番号：2749 東証第一部)
問合せ先 管理部長 松 宮 美 佳
(TEL 052-933-5419)

通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 2 月 2 日開催の取締役会において、下記のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 10 日の平成 28 年 3 月期決算発表時に開示した平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の連結業績予想及び配当予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

1. 平成 29 年 3 月期の通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 |
|------------------------------|---------------|--------------|--------------|---------------------|-----------------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 22,340 | 百万円 1,564 | 百万円 1,651 | 百万円 1,057 | 円 銭 12.68 |
| 今回修正予想 (B) | 百万円 22,726 | 百万円 1,053 | 百万円 1,235 | 百万円 503 | 円 銭 5.99 |
| 増 減 額 (B - A) | 百万円 386 | 百万円 △511 | 百万円 △416 | 百万円 △554 | |
| 増 減 率 (%) | 1.7 | △32.7 | △25.2 | △52.4 | |
| (ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期) | 百万円 20,552 | 百万円 1,834 | 百万円 1,884 | 百万円 1,195 | 円 銭 14.32 |

2. 修正の理由

営業利益及び経常利益については当初の見込みを上回る人件費等の増加が見込まれること、また、親会社株主に帰属する当期純利益については上記理由に加え減損損失の発生が想定されることから、それぞれ前回予想を下回る見通しであります。

減損損失につきましては、第 4 四半期において請求可能な金額未確定の補助金収入が見込まれ、減損の兆候及び将来キャッシュ・フローに関して不明確な要素があるため、第 3 四半期時点では金額の確定はできません。

なお、経常利益予想よりも親会社株主に帰属する当期純利益予想が大きく減少している要因は概ね減損損失の見込によるものであります。

当社グループは子育て支援事業参入当初より、必要十分な保育士が確保できることを前提とした投資計画に基づき最大収容規模の施設を開設し続けてまいりましたが、保育士の確保は年々厳しさを増しており、当初の計画を達成することが困難な状況となっております。

また、平成24年度からの約3年間は地方へ軸足を置いた開設を進めてまいりましたが、国や自治体からの補助が相対的に少なく、地方の施設は収益力が乏しい状況となっております。

このような状況の下、継続して収益性の悪化している施設については、収益力を厳格に検証した上で過去の計画を見直し、投資回収が困難と見込まれる部分がある場合には減損損失処理に踏み切る可能性があります。

なお、特に平成27年4月に開設した施設まで、このような傾向が続きますが、詳細が分かり次第速やかに開示いたします。

●配当予想の修正について

1. 修正の内容

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| 前 回 予 想 (平成28年5月10日発表) | | | | 円 銭 4.00 | 円 銭 4.00 |
| 今 回 修 正 予 想 | | | | 円 銭 2.00 | 円 銭 2.00 |
| 当 期 実 績 | — | 円 銭 0.00 | — | | |
| 前 期 実 績 (平成28年3月期) | — | 円 銭 0.00 | — | 円 銭 5.00 | 円 銭 5.00 |

2. 修正の理由

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結配当性向30%前後の連結業績連動型配当の継続実施を基本方針としております。

平成29年3月期の期末配当金につきましては、1株当たり4円00銭を予想しておりましたが、上記の通り、通期の連結業績予想が前回発表予想を下回る見込みとなったため、誠に遺憾ではございますが、前回予想より2円00銭減額し、1株当たり2円00銭に修正させていただきます。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上